



家づくりのこだわり

Original Frame & Urethan Panel



夏涼しく、冬暖かい。いつでも、どこでも、年中快適
快適に省エネな暮らしを実現

独自のFPウレタン断熱パネルでつくられる「FPの家」

隙間ない構造によって高い断熱性・気密性を実現し、耐震性や耐水性にも優れた頑丈な家をつくります。丈夫なだけでなく、自由設計でデザイン性の高いお家づくりも可能になりました。

当社では20年以上前から「FPの家」づくりに取り組み、今では筑西、小山を中心に茨城県・栃木県にて100棟以上の「FPの家」を建築しています。



当社の基礎は高耐久のベタ基礎仕様。床を支える鋼製束ではなく910mmピッチで基礎コンクリートを立ち上げ、土台からがっちり家全体を支える。土台、大引き、1階柱、通し柱には頑丈な桧材を使用。ねじれにも強い高耐震構造となっている。

FP遮断パネル

FPウレタン断熱パネル

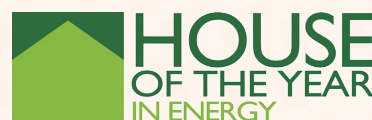
FP床パネル

業界初！壁倍率の国土交通大臣認定を取得
・株式会社FPコーポレーション調査による

／ FPウレタン断熱パネル ／

密度の高い硬質ウレタンと木枠が一体となり、高い強度をもつ105mmの厚さのパネル

●高断熱・高气密 ●無結露50年保証 ●経年変化にも劣化にも強い



『ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー』

5年連続優秀賞を受賞！

※建物躯体と設備機器をセットとし、トータルとしての省エネやCO2削減などへ貢献する優れた住宅を表彰する制度

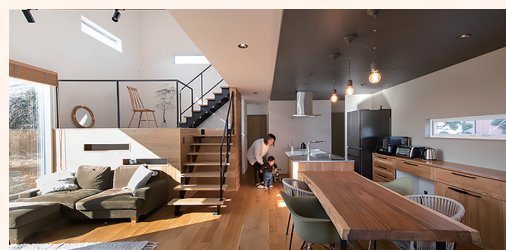


FPDA 2022
SPECIAL AWARD

『FPの家デザインアワード2022』

審査員特別賞を受賞！

「スキップフロアと土間のある家」



省エネながらも快適なおうちの理由は

断熱性と気密性

【UA値とC値に注目】

UA値

UA値とは断熱性能を表す数値

UA値が低いほど熱が逃げにくい＝断熱性能が高い

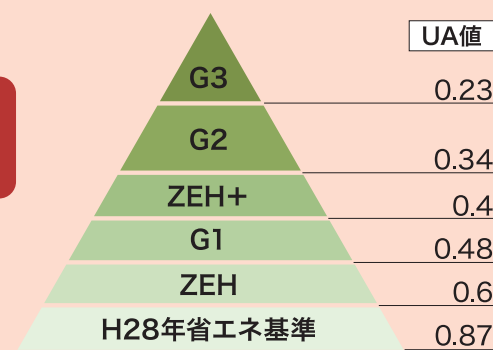
見学会を行う結城のお家は

UA値 0.34

HEAT20 G2の断熱基準に合わせた断熱性

※HEAT20…日本を8つの地域に区分し、それぞれの気候に適した断熱性能の基準値を定め、グレードで評価。「H28省エネ基準」や「ZEH」などの基準よりも厳しい基準となっている。

結城・筑西は地域区分5地域



▲5地域のUA値基準

C値

C値とは住宅の気密性を表す数値

C値が低いほど隙間が少ない＝気密性が高い

見学会を行う結城のお家は

C値 0.16

FPの家 全国平均値 0.39を上回る気密性

C値を出すには気密検査が必要！

FPの家は気密検査が義務付けられており、当社では間取りや造りが異なる一棟一棟しっかり気密検査を実施。

気密検査を行うことで、お客様に『本当の高断熱高気密住宅』をご提供します。



是非見学会で高い断熱性・気密性の
「FPの家」を体感してみては？

Instagramではイベント情報や施工風景も更新中 saiken.saichan